

この木何の木 気になる木

石川県巨樹の会

私が、表題の歌詞で始まる「日立グループのCMソング」を聞いたのはかなり前になるが、そこに出てくる傘を広げたような樹形の木になったのは、それからだいぶ後である。

日立がグループ会社の発展を木の成長になぞらえた「CMソング」が先にできたが、それに叶った木がなかなか見つからず、最初はアニメから始まり、それに近い木がいくつか採用されては消え、ついに今日の木になったと聞いている。

私が「気になる木」として取り上げたのは、現在放映されている珍しく整った樹形の木である。

こんな木は本当に日本にあるのだろうか、在るとしたら何処だろう。

自然の木か、それとも人手が加わったものなのか、私も全国の公園等を合め多くの木を見てきたが、勿論思い当たる木はなかったし、多雪地帯や台風が多い日本ではとても育てられないだろうと半ば諦めていた。

ところが、平成24年「世界の巨樹を見る会」の皆さんとハワイを訪ねる機会に恵まれ、「気になる木」の疑問は一気に解決した。

それは、ハワイ州・オアフ島のホ

ノルル国際空港に到着後、真っ先に訪ねたのが「モアナ・ガーデン」だったからである。その入口には、日本語で「この木なんの木を訪ねていただき有難うございました」との看板があり、しばらく行くとCMの「気になる木」がデンと構えているのが見えてきた。

何も知らされていなかったせいもあり、また、思ったより大きくて驚き、しばし感激のひと時を味わったのである(写真1)。

「気になる木」は、当地では「モンキーポッド」と呼ばれ、学名は *Samanea saman* (マメ科)で、日本にあるネムノキに似た

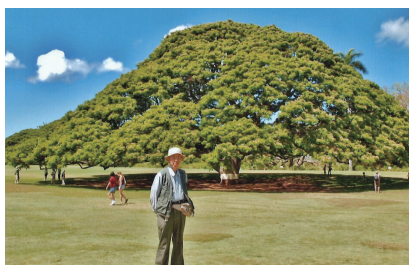


写真1 モンキーポッドと写る筆者



写真2 モンキーポッドの花



写真3 林立するモンキーポッド

花を年に2回咲かせ(写真2)、中南米原産の植物であると言われている。

モアナ・ガーデンには「モンキーポッド」が1本だけあるのではなく、同じ木が20数本(写真3)あり、その中で特に樹形の良いのが1本選ばれ「気になる木」、すなわち「日立の樹」と言われ、日本人観光客の人気スポットになっている。

また、ハワイ州の「特別な木」にも認定され、各地からの観光客も多いのだそうである。

当時、この木の樹齢は約130年、高さ約25メートル、枝幅約40メートル、胴回り約7メートルと記録されていたが、モンキーポッドは熱帯の気候に適応して1年に約1メートルも伸びると言われているので、丹念に剪定をしておれば別だが、かなり伸びているのではと思われる。しかし、この傘状の樹形はこの木

の特徴らしく「モアナ・ガーデン」にある20数本のモンキーポッドもほぼ同じ樹形であり、大きく広がつた枝で適度の木陰を作ってくれるので公園などに多く植えられ、ハワイの日常生活にすっかり根付き、「ハワイを代表する木」として、様々な場所で見かけるようになってきている。

また、こんな木が育つためには、ハリケーンの影響は見逃せない。

ハワイではどうか調べて見たが、かなり離れた海上でのハリケーンは普通にあるが、島に上陸するのは数年に1回ぐらいだとのこと、モンキーポッドの生育に好適な場所だったのだらうと思っている。

モアナ・ガーデンは、ハワイ王国の祖カメハメハ大王の孫にあたるカメハメハ五世の別荘地として整備された由緒あるガーデンで、面積は22エーカー(約9ヘクタール)あり、現在は民有地になっているが、当時の建物なども残されておりよく管理されている。

最後に、このCMは、テレビ番組「世界ふしぎ発見(TBS)」に出てくるもので、この番組が本年3月末で終了し、このCMもあまり見なくなつた。

(石川県巨樹の会 濱野一郎)